

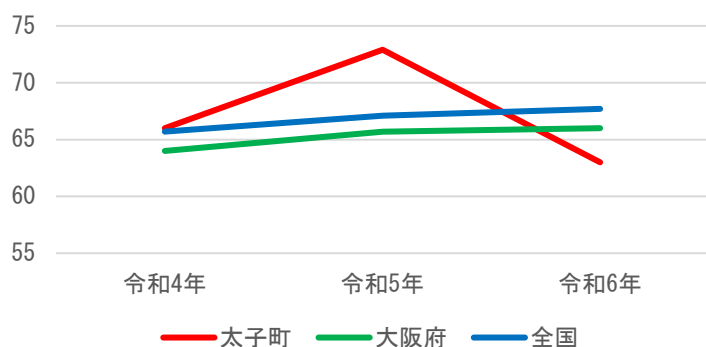
令和6年度 全国学力・学習状況調査

小学校



正答率比較

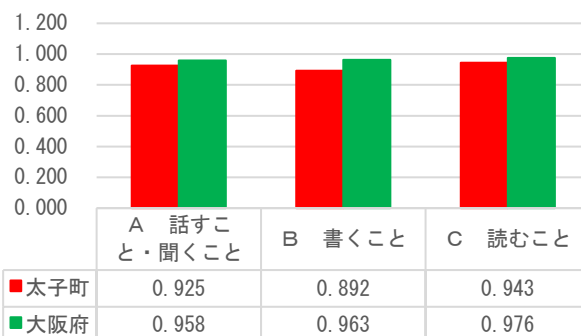
平均正答率の推移



平均正答率は、63%で全国（67.7%）、大阪府（66%）をやや下回った。

学習指導要領の内容別比較

全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較



全ての項目で全国平均と比べて数値が下回った。特にB書くことに関する項目に課題がみられる。

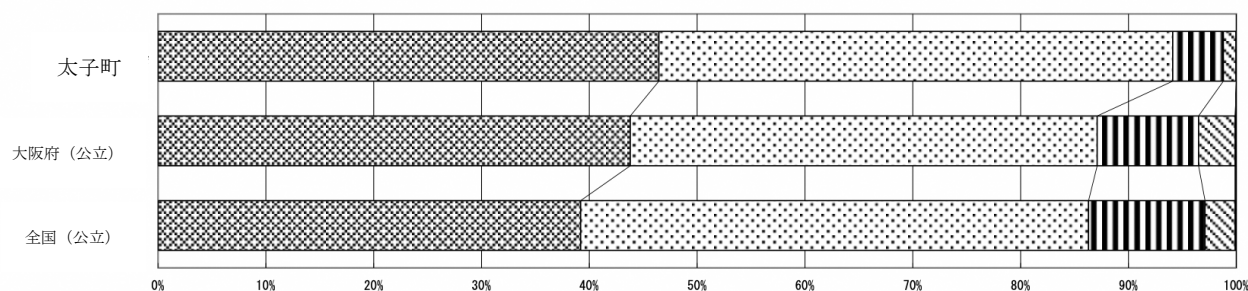
質問紙調査より

質問紙調査より

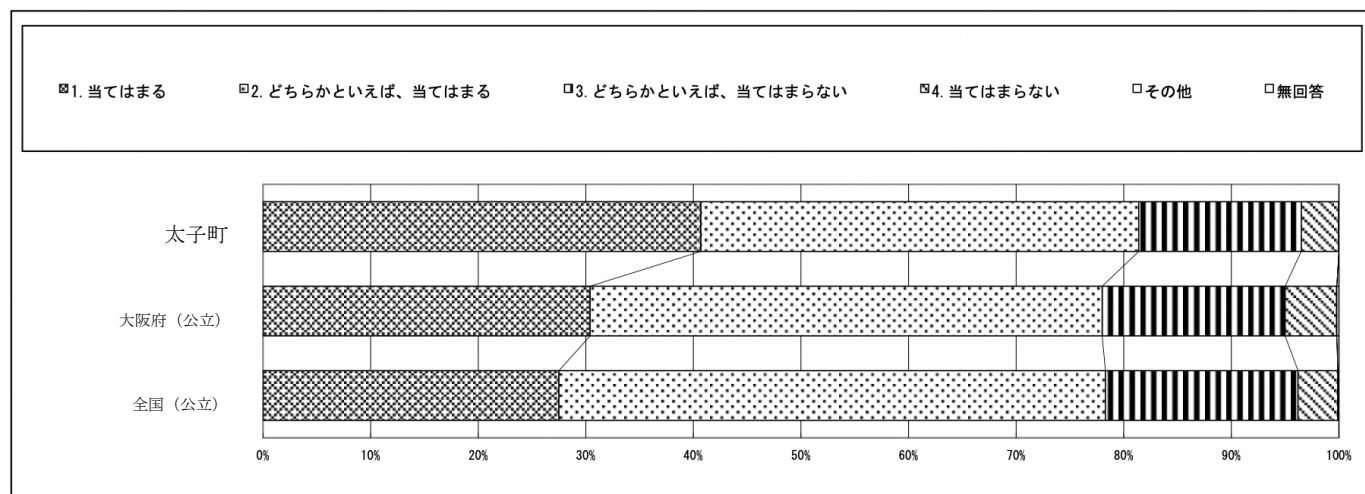
質問紙「国語の授業の内容はよく分かりますか」「国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか」「国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか」への肯定的な回答が高かった点が注目されます。これは、小学校がこれまで国語に関する授業研究をする中で、情報を整理しながら理解し文書を書く際の推敲に関して重点的に取り組んできた成果であることがうかがえます。

▼国語の授業の内容はよく分かりますか

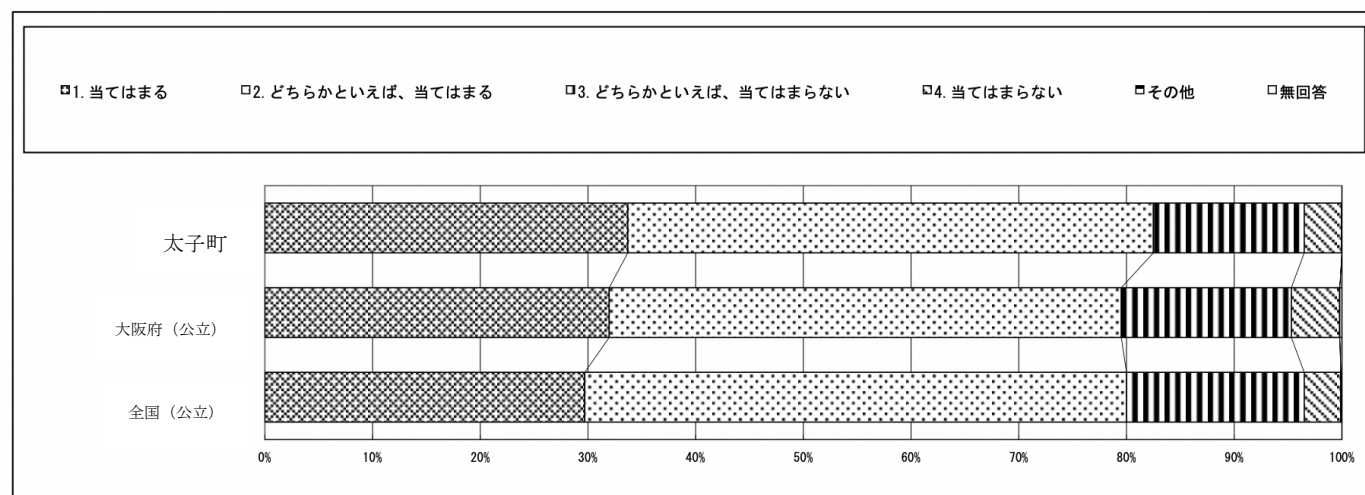
☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☐その他 ☐無回答



▼国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか

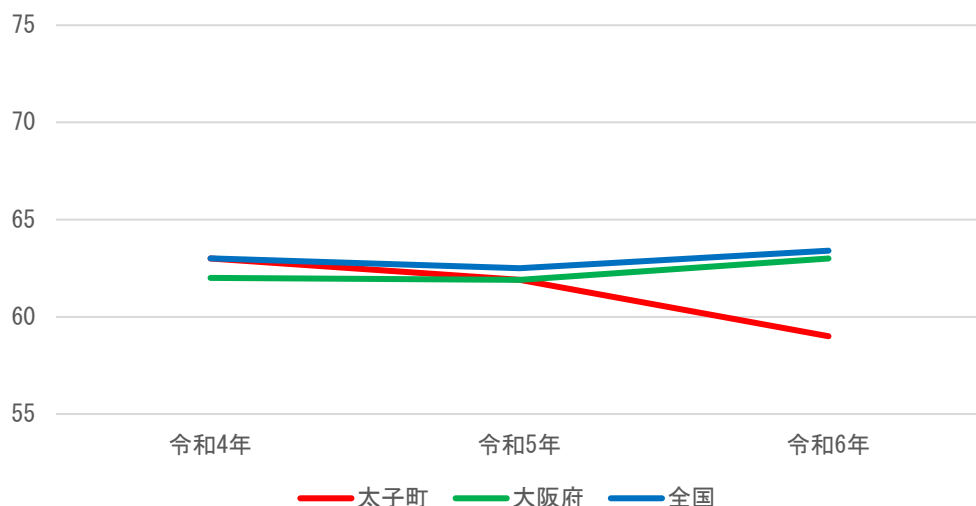


▼国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか



正答率比較

平均正答率の推移

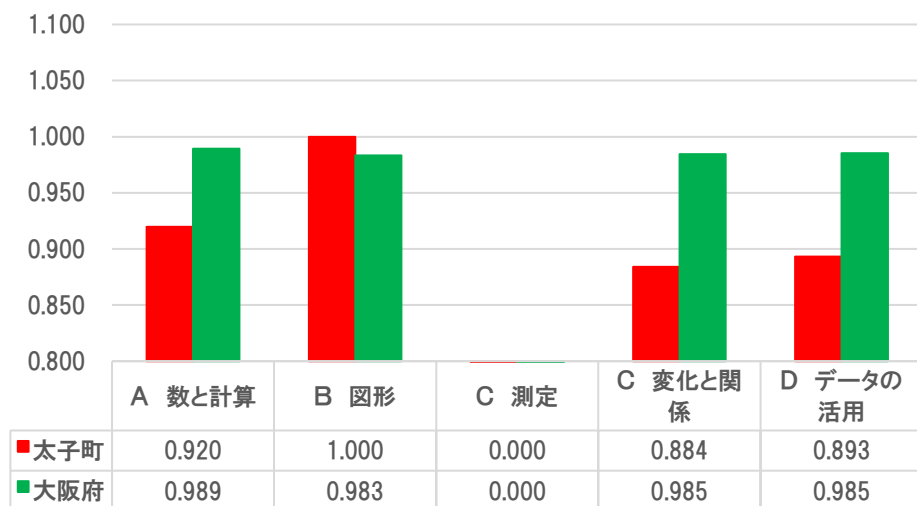


平均正答率は、59%
で全国（63.4%）
大阪府（63%）をやや
下回った。



学習指導要領の内容別比較

全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均
正答率との比較



「図形」に関しては全国平均に並んだ。

一方、そのほかの項目に関して課題が見られた。各学校において丁寧な復習をおこない、学力の定着を図ります。



全体を通して

国語に関しては、各校の研究テーマに基づき、子どもたちは情報を読み取る能力をしっかりと身につけています。一方で、算数については、これまで課題とされていた図形分野に関しては全国平均に達する成果を収めました。しかしながら、他の項目では全国との差があり、算数に対する苦手意識を克服するために、各校での授業改善をおこない、児童一人ひとりに確かな学力をつける取り組みを進めます。